

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2019年5月7日（火）

NO. 958号

本号3頁

5月3日、全国各地で多彩に「憲法を守ろう」と行動

新潟 「いいね！憲法9条新潟大集会」野党が勢ぞろい！

5月3日の憲法記念日に新潟市で「全国市民アクション」「市民連合」の2者共催で「いいね！ 憲法9条 新潟大集会」が開催され、連休中の晴天の下、500名が参加しました。

主催者の佐々木市民連合共同代表の挨拶の後、最初に沖縄の徳森りまささんが玉城知事を当選させた若者の取組みを発言しました。

その後、立憲民主党、国民民主党、共産党、社民党、新社会党、緑の党の各代表が「夏の参院選挙で市民と野党の本気の共闘で勝利し、新潟から安倍9条改憲阻止のメッセージを全国に発信しよう」と発言しました。

最後に夏の参院選での新潟選挙区の予定候補者である打越さく良（うちこしさくら）さんが壇上に立って、「憲法を守り、生かす取組みを弁護士としてやってきた。野党統一候補に正式に決まったら、みなさんの願い実現のために奮闘したい」との発言に参加者は共に闘う決意の拍手を送りました。



新潟憲法会議 酢山事務局長報告

愛知 憲法市民のつどい・デモ行進に2500人の参加

名古屋市昭和区で、憲法市民のつどいが2500人の参加で開催されました。複数の視聴会場から立ち見が出るほどで、満員の会場は「安倍改憲ノー」の熱気で包まれました。

第一部は、水島朝穂早稲田大学教授がユーモアを交えながら講演しました。水島氏は「9条改憲は改憲ではなく、憲法の改ざんだ」と述べ、「安倍政権は、情報を隠し、ルールを破り、論点をずらすなど議論の前提を崩している。そういう相手に対策はいらない。改憲する理由が不十分なら憲法を変える必要はない。憲法の改ざんは許さないと訴えよう」と話しました。

第二部は、立川談四楼氏による憲法寄席。会場は笑い声があふれ、盛り上がりしました。

主催者代表の本秀紀名古屋大学教授（愛知憲法会議事務局長）が、「安倍政権にあらがう社会を私たちの手で創り上げていこう」と呼びかけました。また、鈴木典行愛知県弁護士会会長が挨拶しました。

参加者は集い終了後、「安倍9条改憲NO!」などのプラカードを掲げてデモ行進しました。デモ行進に激励の声をかける人、手を振る人が多数いました。

高知 森英樹氏講演 天皇交代・改元を政治利用し改憲狙う安倍首相を批判

高知憲法アクションなど10団体の主催で3日、「憲法施行72周年県民のつどい」が高知市で開催され、約270人が参加しました。

高知憲法アクション呼びかけ人の青木宏治氏が主催者あいさつを行い、「改元を安倍政権のために政治利用させてはいけない。主権者である私たちが、しっかりとすることが安倍改憲阻止につながる」と述べました。

森英樹名古屋大学教授が「代替わりでどうなる憲法 どうする憲法—象徴天皇制と憲法」と題して講演し、現在行われている諸行事に憲法違反の内容が含まれていることなどを解明。「安倍首相が改元にあたり新しい時代を切り開く決意を強調するも、憲法改悪を狙っている」と、強く批判しました。さらに、安倍首相が天皇の代替わりなどの「フィーバー」で国民の関心をそらし、2017年5月3日に打ち上げた20年憲法改定施行に向けて改憲をすすめるようとしていることに注意を喚

起。9条に自衛隊を書き込むのではなく「日本は憲法の原点通り、一切の戦力を持たず非軍事的方法で世界平和をリードするべきだ」と訴えました。

鳥取 「平和の鳥フェスティバル」で今年も「ほと風船」を大空に飛ばす！



5月3日の憲法記念日、鳥取駅前「風紋広場」で「平和の鳥フェスティバル」が今年も開催されました。子ども連れの家族ら約150人が参加し、「平和のメッセージカード」を付けた約200個の「ほと風船」を大空に飛ばしました。

実行委員長の吉岡一則氏は「憲法記念日にはほと風船を飛ばして12年目になります。全ての人類が人間らしく生きていけることを保障する憲法を守り続け、主権者として戦争しない仕組みをつくるのが大事です」と挨拶しました。

ゴスペルオーブがミニコンサートを披露しました。代表は「戦争しないことを学んで平和をつくっていくのがゴスペルの役割です」とあいさつしました。また、オーブニングでは壮大な巖流太鼓の演奏が披露されましたが、太鼓を演奏した岡本いずみさん(8)が平和のメッセージを朗読。「太鼓をたたくときは緊張しました。平和を願って風船を飛ばしました」と話しました。

宮城 1000人を超える参加者で「憲法を活かす県民集会」を開催

憲法記念日の3日、仙台国際センターで「憲法を活かす県民集会」が開催され、1000人を超える市民が参加しました。主催は、宮城県憲法会議や憲法を守る市民委員会、県護憲平和センター、みやぎ9条懇話会(呼びかけ人会議)の4団体。

集会では共同通信社編集委員の石井暁氏が講演しました。石井氏は、2013年の国家安全保障会議設置から、特定秘密保護法生体、武器輸出三原則の撤廃、戦争法制定と法整備を強行した経緯を追いながら、安倍政権の「戦争できる日本、自衛隊づくり」を告発。さらに、空母、長距離ミサイルを持つなど自衛隊を国防軍化していると指摘し、「9条を変えてはいけません。ともにたたかいましょ」と訴えました。

集会後、参加者は「自衛隊を軍隊にするな」「武力で平和は守れないぞ」と訴えながら、連休で賑わう一番町商店街などをデモ行進しました。

大阪 2万人で「9条改憲NO!」のポテッカーを掲げてアピール

大阪市北区の扇町公園で「5・3輝け憲法! 平和といのちと人権を! おおさか総がかり集会」が「おおさか総がかり行動実行委員会」の主催で開かれ、2万人が参加しました。

集会は、長野たかしさんと森川あやこさんによるミニコンサートで開会。日本共産党、立憲民主党、社民党の代表があいさつ。日本共産党の山下よしき副委員長・参院議員は「3000万人署名を大きく成功させ、市民と野党の共闘で自公と維新を少数に追い込み、安倍政権もろとも9条改憲のたくらみを葬り去ろう」と訴えました。なお、共産党からは清水忠史衆院議員、たつみコータロー参院議員、無所属で衆院大阪12区補選をたたかった宮本岳志前衆院議員も参加しました。

二宮厚美神戸大学名誉教授がゲストスピーチし、安倍首相が狙う改憲をめぐる情勢やアベノミクスの破たんなどについて指摘。「参院選の1人区で野党共闘が成功すれば国会で3分の2以上を狙う改憲派の野望は打ち砕ける」と強調しました。

元大阪弁護士会会長の石田法子さんら各分野から4氏がスピーチし、その後、参加者全員で「9条改憲NO!」のポテッカーを掲げてアピールしました。

集会後、3コースに分かれてパレードし、大阪府民に「安倍9条改憲を阻止しよう」と訴えました。



安倍首相 2020年の新憲法施行

「今もその気持ちに変わりはない」と改憲への執念を示す

「日本会議」のフロント組織「美しい日本の憲法をつくる国民の会」(国民の会)と、「民間臨調」は3日、都内で集会を開催しました。

集会には安倍首相が自民党総裁としてビデオメッセージを寄せ、2020年の新憲法施行について「今もその気持ちに変わりはない」と述べ、改憲への執念を示しました。安倍首相は自衛隊を明記する改憲について「その先頭に立って責任を果たしていく決意だ」と述べ、改元を「新たな時代のスタートライン」として、「国会議員がこの国の在るべき姿を提示していく責任がある」と、改憲論議の活発化を訴えました。

出席した自民党の下村博文憲法改正推進本部長は、憲法9条に自衛隊を明記することを含む自民党の改憲4項目を「ぜひ、憲法審査会で発表したい」と表明し、「その結果を踏まえた7月の参院選挙で、憲法議論をさらに前に進める熱心な候補者か、憲法議論にまったく関心がない候補者か、それによって国民のみなさんとともに、令和元年がスタートする年にしていきたい」と改憲を参院選の争点にする姿勢を示しました。

自民党の柳本卓治参院憲法審査会会長は、「5月8日に参院の憲法審査会の与党幹事の懇談会も開かれる。5月、6月の間には全力投球で、通常国会で必ず憲法論議を実現していく」と発言しました。

「国民の会」の打田文博事務総長は今後の活動について、「国民啓発活動の推進母体として、議員と民間が連携したネットワーク（国民投票連絡会議）を全国289小選挙区に設置する」などと宣言し、草の根の啓発活動を推進する考えを示しました。

天皇の交代を政治利用し、改憲を進めることは許されません！

このような安倍首相の天皇の代替わりと改元にからめて改憲を呼びかけたことは、まさに「天皇の制度の最悪の政治利用」（共産党小池氏）であり、やってはいけないことです。さらに、相変わらず「2020年までに」と危険を区切って、首相が改憲の旗振りをする事自体が、憲法99条憲法尊重義務違反であり、立憲主義を踏みにじるものです。

再掲 5・9 国会傍聴と国会議員会館前行動にご参加を

衆院憲法審査会が動き始めました。9日には憲法審が開かれ、民放連からの聴取も行われます。自民党などはこのあと、継続審議になっている改憲手続法の改正案の審議・採決を企てています。しかし、この問題は与党がねらう微修正で終わる問題ではありません。自民党らは、民放労連から参考人としての意見は聞くが、聞くだけ。改憲手続法の改正案にCM規制を反映させる意思はないようです。

また、自民党はその後の憲法審でみずからの改憲4項目の条文案の「提示」を狙い、憲法審での改憲論議を進めようとしています。萩生田自民党幹事長代行は「新しい時代になったら、憲法審査会をワイルドに進めたい」などと暴言を吐きました。私たちはこのような与党の企てを許すことはできません。

9日の午前中は衆院憲法審査会の傍聴行動を行います。また、夜には「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」と「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」共催で、国会議員会館前行動を行います。首都圏の皆さん、是非参加し、声を上げましょう。

日時：5月9日（木）18：30～

場所：衆議院第2議員会館前を中心に

内容：立憲野党各党の憲法審査会委員の挨拶と、市民団体の発言など。

※衆院憲法審査会の傍聴を希望される方は、前日8日の15時まで憲法会議まで、お名前と職業をお知らせください。 電話 03-3261-9007 F A X03-3261-5453

